

中里小のすべての子が「学校楽しい！大好き！（幸福感）」

【中里小学校の教育目標】
○健康でたくましい子ども ○よく考え 最後までやりぬく子ども ○仲よく助けあう子ども

- 【中里小学校の重点目標】
- 1 助け合いながら、最適な課題解決方法を模索し、課題を解決する力を育む。
 - 2 人それぞれのよさや持ち味に気づき、尊重していく力を育む。
 - 3 誰一人置き去りにしない教育を推進する。

中里WAY

【中里WAY テーマ】

子どもたちに寄り添い、一人一人を大切にする教育活動

学習指導（学力向上）

教科担任制導入による専門性の高い授業

- 高学年は教科担任制（教科担任制講師の配属）
- 中学年一部教科担任制（学年内を含む）
- 各教科領域における「聞く」「話す」力の育成。
- 「個別最適化」と「協働的な学び」のスパイラル。
課題に対して、自分にあった解決方法を選び、そのなかで考え、課題を解決していく授業実践。
- 教室の学習環境
 - ユニバーサルデザイン化された教室
 - シンプルな掲示 ○整った机配置
 - めあてや学習の流れを示した板書

生活指導の充実

多面的な児童理解に基づいた生活指導

- 中里小学校 「ルール早わかり」の共通指導。
・個に応じた支援が必要な場合には、個別対応も模索していく。
- 担任・専科・養護・「すまいる」「なかばと」教員による、児童情報を広く共有。それをふまえた多面的な支援。
- 保護者との情報共有
首から上のケガ、友達とのトラブルは、漏れなく管理職に報告の上、保護者とも情報共有
- Q-Uを活用したアセスメント・コンサルティング。

学校の特色を推進

特色 = 中里小独自の強み

- 中学年・高学年教科担任制の導入。
- たてわり班活動（にこにこタイム）
・異学年交流
- キャリア教育の継続的な実践。
- 特別支援学級（なかばと学級）児童との相互交流
- ユネスコスクール。
・人権教育・生命尊重・SDGs
- 姉妹校山辺小学校との交流。
・歴史、郷土愛、SDGs
- 地域・学校関係の方々との連携。
・学校運営委員会 ・学校関係者評価
・学校支援コーディネーターとの協働

組織的な学校運営

チーム中里

- 各分掌提案の共通理解・共通実践
・起案→提案→共通実践
（文書（データ）伝達を基本とする）
- 迅速な報告・連絡・相談
・縦のライン
教諭→主任→主幹→管理職
- ・横のライン
チーム・学年・分掌ごとの報連相
- 特別支援教室拠点校の強み
・特別支援コーディネーター、巡回教員、特別支援教室専門員・インクルーシブ支援員等チームとしての支援
- 特別支援学級設置の強み
・担当教員、講師、支援員、生活サポーターとの連携

働き方改革（ウェルビーイング） ～教職員が生き生きと子どもたちと接するために～

- ・残業時間の削減、勤務時間内勤務励行
- ・留守番電話の設定（17：30に設定）
- ・業務内容のスクラップ&ビルド
- ・面談日時設定 → 基本は勤務時間内
- ・メンタルヘルスのラインチェック（縦のライン、横のライン）